

4 アライグマ

基本的に夜行性で木登りが得意
果実やトウモロコシなどが好物



警戒心が強く気性が荒い

かわいい
見た目にご用心!

目の周りに黒いマスク模様、
眉間に黒いスジ

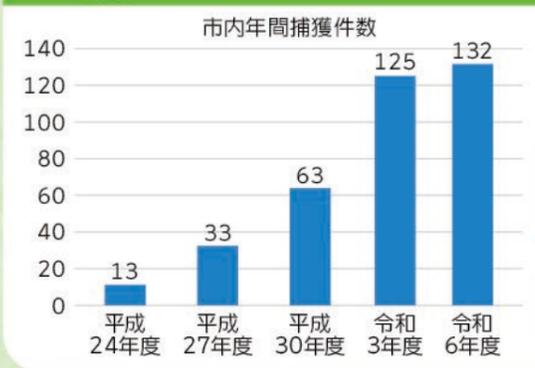
尻尾がしま模様

提供:環境省

指は長く5本指



市内で被害が相次いでいます



捕獲件数は年々増加し、市内全域に生息
範囲が拡大!!

- 農作物への被害** 野菜や果樹などを食い荒らす
- 生態系の破壊** 両生類や爬虫類などの在来種を捕食する
- 生活環境への被害** 家屋の屋根裏などに侵入し、糞尿による汚損や騒音被害を引き起こす
飼育している金魚・メダカなどを捕食する



被害を防ぐために

- 餌を与えない**
 - 農地や庭木などに、収穫する予定がない野菜や果実を放置しない
 - 防除用のネットで作物を覆う、電気柵を取り付ける
 - 屋外に生ごみやペットの餌などを放置しない
- 居場所を作らない**
 - 雑草は刈り取り、廃材は片付ける
 - 家屋の侵入口となる隙間や換気口は金網などで塞ぐ

見つけたら
むやみに近づかず刺激しない。作物や自宅などで被害があった際には環境課へ。家屋に侵入した場合の駆除などは専門業者に相談してください。
◆ 駆除や消毒などの業者
埼玉県ペストコントロール協会へ ☎048-854-2890

特定外来生物ではありませんが...

5 ナガミヒナゲシ

4~5月にオレンジ色の
花が咲く



1つの実
に1,600粒の種子

繁殖力が強く、
周辺の植物に
影響を及ぼす

見つけたら
葉や茎には有毒成分が含まれているため、素手で触らずに、オオキンケイギクと同様に処理してください。

知っていますか? 特定外来生物

近年、全国的に分布を拡大させている外来生物。市内でも、農作物や生活環境などへの被害が深刻な状況です。今回は、特定外来生物が引き起こす問題やその生態、対処法などについてお伝えします。地域の自然と暮らしを守るためにも、いま私たちにできることを考えてみましょう。



特定外来生物とは?

もともと日本にいなかった外来生物のうち、生態系や人の身体^{からだ}、農林水産業へ被害を及ぼすものや及ぼす恐れがあるとして、外来生物法により指定された生物のことです。

! 飼育、栽培、保管、運搬、輸入、販売、譲渡、野外に放つこと、種をまくことなどは原則禁止されています

1 クビアカツヤカミキリ 桜が危ない!



2.5 ~ 4 cm

クビ(胸部)
が赤い

全体が光沢
のある黒色

提供:埼玉県環境科学国際センター

フラスは幼虫がいる証拠!



フラス
幼虫が食べた木くずとフンが混ざり、固まったもの

提供:埼玉県環境科学国際センター

桜や梅、桃などの
木を食い荒らし
枯らす

見つけたら
フラスが出ている木の穴に市販の殺虫剤を注入。成虫はその場で駆除。発見した場所や状況などを環境課に連絡してください。

2 オオキンケイギク きれいだけど持ち帰らないで!



5~7月に
黄色の花が
咲く

花びらの先は
ギザギザ

提供:環境省

繁殖力が強く、
在来の野草の
生育場所を奪う

見つけたら
自宅で見つけた場合は、種ができる前に根元から抜き取り、袋に入れて密封し、枯死させてから「もやすごみ」に出す。公園など公共の場所に生えている場合は、環境課に連絡してください。

3 セアカゴケグモ 赤い模様にご注意を!



全体が光沢
のある黒色

背面と腹面に
赤色の斑紋

提供:環境省

メスは毒を持ち、
咬まれると健康
被害を起こす

見つけたら
素手で触らずに、踏み潰すか市販の殺虫剤で駆除。発見した場所や状況などを環境課に連絡してください。